



30TH MEDIA 4HOURS ENDURANCE RACE 第30回メディア対抗ロードスター4時間耐久レース

公式通知 No.3-1

2019年9月7日 注意事項(全参加者宛)

大会組織委員会

1. エントラント駐車場への入場について

- 1) サーキット入場ゲートおよび車両待機場所は、参加受理書及び公式通知 No.2(パドック配置図)にてご確認ください。
- 2) 大会期間中、サーキット内への車両入場の際は、外から見えるように車両通行証をルームミラーに掛けてください。
- 3) エントラント駐車場の開門は、午前5時からになります。早朝サーキットに到着された場合、騒音を出さないようお願いいたします。
※サーキット周辺の住民への配慮にご協力ください。 ※降車台はエントラント駐車場のものをご利用ください。

2. 参加確認受付について

- 1) エントラントは、参加受理書及び公式通知 No.1(タイムスケジュール)に指定された時間帯及び会場で、参加確認受付を済ませてください。 ※正式参加受理書を必ず持参ください。
- 2) 受付の際、正式参加受理書と引き換えに計測装置や大会公式プログラムなどを受け取ってください。
※入場パス類は正式参加受理書に同封して事前に発送済みです。(再発行は不可)

3. 競技車両および工具の搬入について

- 1) 参加確認受付後、競技車両を公式通知 No.2(パドック配置図)に記載された待機場所へ移動ください。
- 2) サイレンサー未装着の競技車両は、午前7:20までパドック内への移動も含めエンジンの始動は一切出来ません。
- 3) 工具、備品、部品は台車等で搬入し、各自の責任において管理してください。
※パドック内は大変混雑しますので、原動機付きの乗り物や自転車の乗り入れ、ペットの持ち込みを禁止します。
※競技車両は、車検、予選、決勝以外は指定待機場所より移動することができません。
※競技車両以外でAパドック内に入場できるサービスカーは、指定されたカテゴリーおよび時間帯に限られます。

4. 公式車両検査、出走前点検、車両保管について

- 1) 公式車両検査は、公式通知 No.1(タイムスケジュール)に指定された時間および場所で受付、検査を行います。
※車検場周辺は大変混雑しますので、車両検査の開始時刻まで該当する車両以外は車検場に移動しないでください。
- 2) ドライバー、ピットクルーは車両検査時に参加資格が確認できるよう、必要な装備を持参してください。
(ライセンス、運転免許証、レーシングウェア、レーシンググローブ、レーシングシューズ、ヘルメット、消火器など)
- 3) 出走前点検は、待機場所で行います。指定時間前に車両付近に待機してください。
- 4) 公式予選終了後は車両保管を行いませんが、場内での給油の場合を除き、待機場所から車両を移動することはできず、移動を伴わない出走準備の為に軽作業は行えます。
※やむを得ぬ理由がある場合に限り、待機場所からの車両持出しが認められますが、再車検手数料 10,800 円を添えて手続きを行ってください。

5. ピット割当、ピットサービスについて

- 1) ピット割当は、公式通知にて発表します。必ず指定されたピットをご利用ください。
※指定以外のピットを使用した場合、ペナルティーの対象となります。
- 2) 地上デジタル対応モニターとアンテナ接続ケーブルを持参することで、計測を行うクラスは競技中、ラップタイムモニターを視聴することが可能です。ご覧になる場合には11チャンネルに設定してください。なお、アナログモニターでは視聴できません。
※ピット内にあるモニター用のコンセントを使用することができますが、容量が小さいため、それ以外の用途には決して使用しないでください。
- 3) ピットを使用できる時間は、参加カテゴリーの予選と決勝の時間帯のみとなります。
※ピット内に荷物を置く際は、他のカテゴリーとの共用であることを認識した上で、他の参加者の迷惑にならないよう十分に配慮してください。

6. ピットレーンの通過速度について

ピットロードを走行する競技車両の制限速度は40km/h以下です。違反者はペナルティーの対象とします。

7. 無線の使用について

筑波サーキットの運営規則により、有資格者であっても無線機の使用を禁止します。※市販の携帯電話は可

8. ガソリン携行缶の使用について

ガソリンは引火点が低く、静電気や電気火花等により容易に火災を起こす危険性を有しており、取扱いを誤ると、容易に事故に至ります。取扱説明書をよく読み、危機管理の重要性を十分理解した上で、正しく安全に取り扱ってください。

9. 決勝レース終了後の再車検について

- 1) 各レースの入賞車両は、分解検査を行う場合がありますので、各自で必要な工具を持参してください。
- 2) 技術委員長の作業開始指示より15分以内に作業を行わない場合、車検を放棄したものとみなします。

10. メディカルチェック

メディカルチェックは行いませんが、Aパドック内の医務室に医師が待機していますので、体調が思わしくない方は、いつでもご利用ください。

11. ゲストの取り扱いについて

- 1) エントラントはゲストを招く際、そのゲストについても諸規則の遵守と安全の確保の最終責任を負わなければなりません。
- 2) ゲストパスは、インフォメーションセンターにて1枚¥2,000(中学生以下無料)で販売します。また、車両通行証を有しない車はサーキットに隣接する一般用駐車場をご利用ください(1台¥2,000-)。
- 3) ゲストの競技中のピット作業は禁止されます。(ピット作業はピットクルーパスの所持者のみ)

12. 車載カメラ申請について

- 1) 個人鑑賞を目的に競技車両へ撮影用カメラを搭載する場合は、参加申込時点で申請手続きを行っていないエントラントは、参加確認受付後、直ちに大会事務局(コントロールタワー横2Fのサービスセンター)にて、申請手続きをしてください。申請手続きを行ったエントラントは、撮影用カメラを搭載した状態で車検場にて車検を受けてください。
- 2) 無断で車載カメラを搭載して競技に参加した場合は、罰金を含むペナルティーの対象とし、撮影データを没収します。
- 3) 上記以外の目的(営利・報道など)でカメラを搭載する場合は、事前に主催者と撮影に関する協議を行う必要があります。

以上



メディア対抗ロードスター4時間耐久レース エントラント宛①

1. 競技車両の引き渡しについて

特別車両規定に定められた競技車両は、大会当日の参加確認受付と同時に、オーガナイザーより指定の競技車両を引き渡すこととし、指定のガレージ内に収納されている車両が各チームの競技車両となります。

2. 競技用タイヤについて

競技に使用するタイヤは、オーガナイザーが各チームに対して提供するもので、競技車両に装着済みの4本のみ使用できます。また、本大会に使用するタイヤはブリヂストン製「POTENZA Adrenalin RE003」タイヤサイズ:195/50R16となります。

3. 競技車両のメンテナンス及びセッティングについて

大会当日、オーガナイザーより提供された競技車両は、油脂類やアライメントを含み、一切の変更・加工は禁止されます。

但し、タイヤの空気圧調整のみ自由としますが、空気以外の気体を使用することは禁止されます。

タイヤのローテーションは認められますが、競技中にピットで作業をする場合には、競技車両がピットインする前に、その作業を行う旨を担当ピット監視員に必ず口頭で伝えなければなりません。交換は技術委員長の判断が必要です。

4. ゼッケン及びボディデザインについて

公式車両検査の開始時刻までに、オーガナイザー指定のゼッケン及び協賛会社ステッカーを貼付してください。

上記以外に、ボディにデザインを施すことは認められますが、協賛会社に競合したり公序良俗に反するものは禁止されます。

5. 競技車両の使用制限について

競技車両の使用は、公開練習、公式予選、決勝レース及びオーガナイザーが特に定めた時間帯のみとします。

6. T.B.Nの確定登録及び取り消し、参加登録ドライバーの変更について

大会当日の正式参加確認受付後、大会事務局(コントロールタワー2F 横サービスセンター内)にて、指定の用紙に記入し、申請料10,800円(税込)を添えて提出してください。

手続きは公式車両検査の開始時刻前(8:30)までに済ませてください。※申請が遅れますと出走できなくなります。

7. 最終参加ドライバー確認申請書(予選ドライバー&決勝運転順序)の提出について

正式参加確認受付時に配布する所定の用紙に、公式予選の出走ドライバーと、決勝レースのドライバー出走順の申告を記入し、予選開始の1時間前(11:45)までに大会事務局(コントロールタワー2F 横サービスセンター内)へ提出してください。また、ドライバー変更(申請料10,800円)ならびに不出走ドライバーがいる場合は、大会事務局にある所定の用紙に記入の上、同時に提出してください。

8. サービスカーのAパドック入場について

・各チームに対し、搬入用としてAパドックへの入場が可能なサービスカー車両通行証を1台分支給します。※参加受理書に同封

・支給された車両通行証を外から見えるようにルームミラーに掛けて、Aパドック内に入場してください。

※レース車両は車両通行証を貼付する必要はありません。そのままAパドックに入場できます。

※Aパドックに入場できるサービスカーであっても、各チーム指定のピットガレージを含むAパドック内には駐車できません(荷物の積卸しのための停止で5分を超えない時間内のものや、人の乗降のための停止を除く)。搬入後は速やかにP2もしくはサーキットガレージに移動してください。

※上記以外の車両はAパドック内に入場することは出来ません。不正入場や駐車が発覚した場合にはペナルティの対象とします。

9. ピットの使用方法について

・競技車両及びガソリン携行缶への引火防止のため、ピット内および付近での喫煙、カセットコンロを含む火気の使用、高温を発生する器材の使用は厳禁とします。(パドック外のサーキットガレージでの使用は可としますが、安全には十分に注意すること)

※常設の灰皿が設置してある喫煙場所以外は、安全確保のため全域禁煙となります。喫煙者はマナーを守り、他の参加者に迷惑を掛けないようご配慮ください。(特にピット上の観戦エリアでの喫煙は厳禁です)

・ピット内の電源コンセントは容量が小さく、故障の原因となるため、TVモニターやノートPC以外の使用を禁止します。

※大きな電力を必要とする製品(照明器具、電磁調理器、冷蔵庫など)を使用する場合には、各自で電源を用意してください。

・今大会はパドック内の持ち込みテント設営は不可です。実行委員会で用意されたテントのみをご使用ください。

※各チーム指定のサーキットガレージ前の白線のエリア内にテントを設営することは認められます(風対策として十分なウェイトを用意すること)。

10. 予選走行の実施について

・予選走行は、最終参加ドライバー確認申請書に記載した1名のドライバーが行ってください。

・各チームは予選前に満タン給油を実施し、その状態のまま予選走行を開始することが義務付けられます。

※公開練習終了後、全チームは速やかにガソリンスタンドにて給油作業を行ってください(必ず指定のチケットを使用すること)。

※予選走行前の満タン給油作業中は、ガソリンスタンドスタッフ以外の人が競技車両に触れることは禁止されます。

11. 決勝スタート方式について

・第1ドライバーは、レース開催規則第14条「スタート」に記された内容を十分に理解した上で、競技に臨んでください。



メディア対抗ロードスター4時間耐久レース エントラント苑②

12. ハンディキャップについて

- ・前年度のレース上位チームと、今年度のドライバー編成が明らかに他チームよりも秀でていと実行委員会およびオーガナイザーが判断したチームには、ハンディキャップが与えられます。ハンディキャップについては、いかなる抗議も受け付けません。
- ・ハンディキャップの対象チームおよび消化方法につきましては、別途公式通知にて発表しますので必ず確認してください。また、ドライバー変更や TBN 登録等の内容によっては、大会当日も新たにハンディキャップを発表する場合があります。

13. リザルトの配布場所について

- ・リザルト表は、サービスセンター(コントロールタワー2F隣)にて配布します。
- ・公開練習では計測を行わず、リザルト表の配布はありませんが、計測装置の動作確認は行いますので、必ず取付けてください。

14. ピットクルーについて

- ・公開練習から決勝レースを通じて一度にピットレーンで作業を行えるピットクルーは、登録した内の3名に限られます。その3名のピットクルー以外の人間がピットレーンに居てはなりません。
- ・到着ドライバーが出発ドライバーのシートベルト装着の手伝いをする作業は、ピット作業の人数に含まれません。
※作業服装は、不燃性素材の長袖、長ズボン、運動靴を着用し、肌を露出しないこと。(給油時の服装は別途記載)

15. ガソリン給油について

- ・競技車両に使用する燃料は、筑波サーキット常設のガソリンスタンドで販売されるものに限り、添加剤の使用も禁止します。
- ・給油は、オーガナイザーより正式参加受付時に配布されるガソリンチケット(予選前・満タン×1枚、決勝前・満タン×1枚、決勝中・20ℓ×1枚、合計3枚)に規定された時間、量に限られます。チケットを利用しての給油については、マツダ株式会社様がガソリン代を負担されますので、料金清算の必要はありません。
- ・決勝レース中以外の競技車両への給油は、直接ガソリンスタンドの給油ノズルを車両の給油口に差し込んで行います。
- ・予選走行は満タン状態での出走が義務付けられています。公開練習の終了後、予選開始前までに必ずガソリンスタンドで満タン給油を行ってください。予選前満タンを確認後、技術員が確認ステッカーを貼付します。
- ・決勝レース中、オーガナイザーが貸与する金属携行缶にて20ℓ×1回のピット給油が認められています。携行缶への給油は、必ずガソリンチケットを利用してください。チケットを利用せずにガソリン携行缶に給油を行った場合には重い罰則を科します。

16. 決勝レース中の燃料補給作業について

- ・決勝レースの燃料補給中は、ドライバー交代以外の作業(窓拭き、クールスーツ用の氷やドリンク交換も含む)は禁止とします。
- ・ピット作業は危険が伴いますので、安全には十分に注意してください。またピットロードを走行する他車にも注意を払ってください。
- ・燃料補給は、作業の安全のため、必ずエンジンを停止して行ってください。

17. 決勝レース中の燃料補給とタイヤ交換の作業時間について

- ・燃料補給は3分間以上、タイヤ交換(技術委員長が特に認めた場合に限る)は10分間以上と作業時間が決められています。
- ・作業時間の計測開始は、各自のピット前にて競技車両のタイヤが停止してからとします。
- ・燃料補給またはタイヤ交換作業中に認められない作業(窓拭き、クールスーツ用の氷やドリンク交換など)は、作業時間経過後(燃料補給またはタイヤ交換作業が完了していること)から行うことができます。

18. 燃料補給作業用の消火器について(競技車両に装備する消火器はオーガナイザーが用意)

- ・各チームにて薬剤2kg以上の消火器を2本以上用意してください。公式車両検査時に消火器の検査を行いません。
- ・燃料補給時は、ピットクルーの1名が必ず消火器を用意し火災に備えてください。
- ・消火の準備に当たる方は、JAF 規定の服装(レーシングスーツも可。ヘルメット、フェイスマスク、耐火グローブも必須)で、必ずボディアースを実施の上で従事してください。

19. 決勝レースの中断及び再スタートについて

- 再スタート時のドライバーは、レース中断の合図が出された時点で先頭車両が完了した周回の1周前の周回を完了した時点で走行していた者となります。

20. 競技車両の返却について

- ・競技車両は、決勝レース終了後、メインスタンド前コース上、コンクリートウォール脇に停車することで返却となります。
- ・レンタル車両ですので、できる限り清掃を行ってください。車載カメラなどの取外しを忘れないようご注意ください。
- ・必ず、金属携行缶はガソリンを抜き取り、キャップをしっかりと閉めた状態でトランクに収納してください。
- ・計測装置(トランスポンダー)は、競技車両から取り外し、レース終了後30分以内に大会事務局へ返却してください。